



高い志をもち、
つながりを大切にする阿武町っ子の育成

令和5年10月20日発行 第5号



小中合同大運動会

阿武町立阿武中学校
校長 原田 隆史



10月に入ると、ようやく朝晩の気温も下がるようになり、秋の訪れを感じるようになりました。先月は、学校の事情により第5号を発行することができず、大変申し訳ありませんでした。

一月前の話題で恐縮ですが、去る9月10日（日）に阿武小中学校運動場にて、阿武小中学校合同大運動会を開催しました。今年度は、「ゴールまで突き進め ～熱い気持ちと輝く笑顔～」をスローガンに掲げ、夏休み中から準備に取り組みました。昨今、「コロナ禍明け」という表現をよく耳にするようになり、新型コロナウイルス感染症があたかも収束したかのような感じなのですが、本校では運動会の直前に感染症の影響を大きく受けることとなりました。予定どおり実施すべきかどうか、感染対策を行いながらの練習はどうあるべきかなど、山積する課題を抱えながら準備を進める日々でした。さらに、ニューノーマル（新しい日常）となりつつある厳しい残暑の中、小学校低学年から中学校3年まで、発達段階が大きく異なる子どもたちを、熱中症にさせないようにどう安全に練習に取り組ませるかも大きな課題でした。なかなか苦しい選択ではありましたが、結果的には、当初の予定どおりの日程で運動会を実施することとしました。

当日は、夏を感じさせるような陽差しの下、小学生も中学生も力一杯の演技を披露しました。後日、阿武小学校の学校運営協議会長から次のようなお言葉をいただき、いたく感激しました。「今年の運動会では、小学生が全体で行う種目の時には、中学生や中学校の先生方が全部運営を請け負っておられた。逆に、中学生が全体で行う種目では、小学校の先生方が奔走され、高学年の児童たちも準備に一所懸命に取り組んでいた。小中学校が一緒にやる運動会のよさを、今年は特に痛感した…」小中合同運動会の価値が、会長さんの言葉に集約されています。よさを今後につなげていきたいと、強く感じています。ご観覧にお越しいただいた皆様、阿武町音頭のご指導をいただいた皆様に、この場をお借りしお礼申し上げます。



阿武小中合同大運動会 令和5年9月10日(日)

ゴールまで突き進め
～熱い気持ちと輝く笑顔～



児童・生徒の選手宣誓



「ちょっと拝借」ゴールです



地域クラブも激走中！



思い出ピクニックの一コマ



恒例、小中合同パフォーマンス



伝統継承、阿武町音頭

1学期 学校評価(7月実施)を受けて、これからの対応

1学期中の阿武中学校の学校運営状況や教育活動について、様々な角度から総合的に進捗状況を確認するための学校評価アンケートを実施しました。生徒、保護者、学校運営協議会委員を中心にした地域の皆様、そして教職員が4段階で評価しました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

1学期の学校評価の結果を受け、達成率75%前後（平均評価3前後）の項目及び直近の評価（令和4年度2学期末）と比べ達成率に顕著な変化が見られる項目と、自由記述欄にあった要望（特に検討が必要なもの）等について、全教職員で結果内容の分析を行い、改善するための対応について話し合いました。よりよい学校運営、教育活動の充実をめざし、2学期よりそれぞれの対応の方針を基に具体的な取組を仕組んで、実行して参ります。



項目	内 容	対 応 の 方 針
2	コミュニティ・スクールの推進について【数値上昇】	・行事や外部との連携が再開されたことでイメージに残ったと思われる。子どもの満足感や伸びに繋がる取組をめざしていく。
4	小中連携について【数値上昇】	・連携はしているが、本当の意味での「思いの共有」を図るとともに、「Win-Winの取組」に近づけるようにしていきたい。「児童と生徒が関わる場面」も展開中である。
6	補充学習(阿武中タイム)への取組【課題】	・阿武中タイムは計画的にデジタル問題に取り組ませ、確認する。 ・やる気を持続させるために、定期的に取り組む内容を変える。
7	iPadの家庭での活用【課題】	・ドリルパークを中心に学習することを伝える。 ・ドリルパークの課題に気付いていない生徒がいるため、Teamsで知らせる。
9	魅力ある道徳授業について【数値上昇】	・以前は「わからない」という回答が多かったが、今年度は地域の方と一緒に考える授業を行うことができ、道徳授業の様子を伝える学級通信も多い。この方向性を継続していきたい。
11	生徒理解【数値上昇】	・「先生は理解してくれている」と感じている保護者や生徒の比率が増えている。現在の関わりを継続していくとともに、より組織的な生徒理解に努めていきたい。
12	生徒会活動・ボランティア活動【数値上昇】	・昨年度に比べ、保護者・生徒による評価の達成率が上昇している。今後は生徒自らが企画運営していく活動を仕組むことが大切である。
15	メンタルケア【数値上昇】	・教育相談への取組が周知されてきており、数値の向上が見られる。引き続き、SC等の関連機関との連携を大切にしていきたい。
16	生活リズムの定着【数値上昇】	・保健だよりの情報発信に加え、保体給食委員会が中心となってメディアコントロールの活動を主体的に行えるようにしていきたい。
18	部活動【数値上昇】	・生徒は意欲的に部活動に取り組んでおり、県体出場という目標に向け、今後も継続して部活指導に取り組んでいきたい。
要望	運動会練習時や夏季の作業時の帽子着用について	・今年は各自の判断で、帽子を着用している生徒が多く見られました。事故防止の面からも望ましいことだと思いました。
要望	その他の要望	・ここに掲載できなかった事項についても、ご相談させていただきながら、改善に努めたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。